

新山協ニュース

▲ 発行者 平田大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒951 新潟市下旭町109 鈴木敏雄方 TEL025-222-9548

平成7年度 指導員研修会報告 ①

指導員会 三 富 一 弥

期日 平成7年11月26日
会場 新潟市万代市民会館
参加者 68名
演題

都岳連による救急リーダーの育成とその現況

講師
都岳連救助隊長 渡辺輝男
日山協遭対委員長 西原 正

レスキューリーダーとは、セルフレスキュー(自分達の面倒は自分達でみる)さらに一歩進んで仲間の面倒もみる、という事に主眼をおいている。最近では山岳会離れ、講習会の渡り歩きの傾向が強い。満足な教育も受けずに山に登り、

少しでも天候が崩れたり、不測の事態になったら遭難してもおかしくない人達が夏冬問わず増加している昨今、遭難のたびに地元救助隊の手を煩わすのではなく、偶然遭難現場に出くわしても決して慌てることなく、速やかに救助活動が行える登山者の育成と技術の確立は急務の課題である。

都岳連遭対委員会は昭和50年代に入り三冊の技術書を出版した。いずれも救助技術に関するもので「岩場編」「冬山編」「ウインチ編」である。特にウインチについて出版前に、森谷重二郎、川原崇により画期的なウインチが開発さ

れ、効率のよい遭難救助技術として普及していった。ヨーロッパの救助技術を研究し、又関係各位の協力し合って生まれた成果である。現在でもこの技術は有効に活用されている。

都岳連の遭難対策として都岳連の加盟団体のリーダークラスに年3回から4回講習会を開いています。その指導方針として攻めの救助隊にならなければならないと思っ

「遭難対策について」
リーダークラスの中に、救助講習会は搬送トレーニングとか事故後の収容方法と想っている人が多い。登山中に出血者が倒れている場に出会った時に、まず何をすべきか。人命が先ず第一と考え、正しい

知識をもって応急処置をして、怪我の度合いによって早く社会復帰できるようにしなければならぬ。同じ事故でも手当が悪かったら1ヶ月が6ヶ月もかかったりする。救助に向かう人はそこまで考えて行動しなければならぬ。それには最低社会人救急法の知識をマスターする必要がある。

「レスキューテス」
生命ある人間、事故者を搬送途中の手当の善し悪しによって死なせているケースが現実にある。それは、はげしく自分自身に戒めなくてはならないと講習生、救助隊員に話してあります。

指導員の皆さんは山に行く時に救急道具は必ず持っていると思いが、救急用品の中は、人工呼吸、マウス・マウス、ゴム手袋(エイズ、肝炎等がありますので)は必要だとおもいます。

「遭難対策・事故防止」
個人的に技術力のアップ。山に登れる筋力をつける。例えば岩登りについて3級しか登れない人は、その上のグレードを。登れる体力の人は安全度が高い事になる。又ソフトの面では適格な状況判断がで

まる決代表体国

「北信越国体出場チーム」

少年男子 新発田高校

少年女子 三条高校

成年女子 関川村山の会

「広島国体出場チーム」

朝日山岳会・岩広山岳会混成チーム

きる人と、できない人は安全度が違ってくる。

「計画書の提出・下山報告も含めて」

組織内は義務付けられているが、組織外は義務付けられていない。行く先をしっかりと伝える事ができると、事故防止につながる。

会でも家族でも帰って来なかった場合、騒いでくれる人を自分の周りにおく。そして登山、下山報告を必ずする。

都岳連に依頼がくるが、何処に行ったか分からない。具体的にとのコースをとったか分からない。当然膨大な捜査日数と捜査要員がかかります。そこで登山届を家の中や会社の机の中等を探してもらい、それでもかつ分からないとお手上げである。

警察の方でも、中高年の山登りで何処に行ったか分からないケースが最近非常に多くなってきたということです。そこで中高年のために都岳連で、中高年のための講習会を開いて、いざという時に騒いでくれる人に、何処へ行くかと話していただきます。そして必ず山岳保険に加入して下さいと。

やはり山で事故を起こせば少なからずお金がかかるという事は、皆さんよくご存じの事と思います。中には自分が事故を起こした時は、警察が動いてくれるとか、消防団等が動いてくれるものと誤解している人間が多い。少なからず自分が事故に遭遇した時に、誰かが費用を負担しなければならぬ事を解っている人が

評議員会報告

会報担当

遠藤 家之進 正和

(つづく)

例年ならばうすピンク色の蕾もふくらむ頃なのに、ようやく暖かみをおびた陽を浴びた桜の木に遅い春の到来を待った4月14日、平成8年度の評議員会が協会加盟の各山岳会の代表が出席し、新潟市駅前の方代市民会館に於いて開催された。

協会長の挨拶の後、議長に高体連の安野氏を選出し、議題に入る。

第一号議案の平成7年度事業報告について事務局から総括して報告があり、原案通り了承された。

第二号議案の平成7年度会

少ない。自分が趣味を楽しむためには、万が一の時に人様に迷惑をかけないよう保険へ加入があってしかるべきとおもいます。

自分の技術については、事前に気象とか読図とか救急法といった知識を、自分のものにしておく事が重要である。

(つづく)

計収支決算については、一般会計と各専門委員会所掌の会計を一本化した整理で報告があり、監事の外山氏による監査結果報告もあり、原案通り承認された。

第三号議案の平成8年度事業計画(案)について、各専門委員会の担当から詳細な説明があり、原案通り承認された。その中で特記事項としては、平成9年の協会50周年記念事業の立案、例年開催して

いる新年会を出席の利便を考慮して県央の長岡市での開催、遭難対策委員会での県内登山道の諸調査の実施、自然保護

委員会での全国大会を担当する行事等が上げられる。

第四号議案の平成8年度会計収支予算(案)については予算の一本化を念頭に置き、詳細な説明があるが、旅費支給基準を明確にすることを含み原案通り承認された。

その他として、規約第19条別表(分担金)改定、予算の一本化に伴う予算管理と、財政基盤の整備については、平成7年度の繰越金で値上げせずとも対応できる見通しであることから今年度は措置とし、日山協の分担金が値上げされる来年度に改定すること、

(つづく)

対外的にも会計決算書の一本化は必要のため、併せて検討することです承された。50周年記念事業の企画、体制作りについては総務委員会に付託することとし、

カムチャツカ讃歌

◎

ウォッカと煮物で祝う

日本山岳会会員

小倉 厚

ベースキャンプでは祝賀の宴が待っていた。午後6時30分、食堂棟に全員集合。

運転手のユリーさんの心の

こもったポイシチ(半日)がかりで作ったという)と、ウォッカの乾杯ノ、トリニク、ジャガイモの煮物などのご馳走で

・記念誌の発行
・記念登山
・一定時期による地域踏査登山

・協会ニュースの復刻版の発行
・を念頭に置き理事長、総務委員、編集、会報委員で検討することとなった。

人工ボードの撤去については、塩害等による劣化があり撤去の方向で進めているが、申し出のあった上越地区の山岳会において条件整備は整った段階で撤去、移転を検討することです了解された。

次いで新加盟の「新潟稜友会」、「マンサク山の会」の紹介があった後散会となる。さらに、出席者の多数は駅前の別会場に移り、情報交換を含め山談義に花を咲かせ交流を深めた。



狭い食卓はいっぱい。この時ばかりはいつも禁煙に厳しい、ひげの隊長さんにもこやか。ウオッカの乾杯。また乾杯。日本側も残ったウイスキーを出して乾杯の連続。そしてセレモニーはまず、

紅一点、加藤夫人への賛辞。女性同士が微笑ましい。プレゼントの交換、なごやかな国際親善の宴が盛り上がる。時は流れ、明日の予定(火山ハイキング)を告げられて終宴。

霧深く小雨まじり、火山ハイキング中止。ベースキャンプ部屋の中で、のんびり一日の休養となる。登山が終わったあとだけに、ペトロでのあのいらいらのヘリ待ちとは大分気分が違う。ただし帰りの期日が決められているだけに、それに間に合わなくなるのだけは困る。

帰る日だ。食後、最年輩の望月隊員がやわらボケットからサイコロとリングを出して、手品をやって拍手かっさい。ロシア側は不思議そうであったが、さすが若いロシアのエリート、アレクセイ君はすぐに種を見破った。これははからずも、まことによい日口交歓であった。

日本では今夜は、(旧)日本山岳会のマカルー東稜初登頂の祝賀会が行われているはずだ。(長岡新聞より転載)

夜中から再び雨になった。本当に幸運というよりほかにない。白夜のカムチャッカにも朝はくる。翌6月30日、山小屋では相変わらず軒の大合唱が続く。それでも9時30分、朝食

再び寝込むもの、雑談にふけるもの、記録の整理にかかるとのさまざま。ストーブの火があかあかと燃えている。4時、昼食、たき込みチャーハン風ごはん、女性たちが心を込めて作った祝いの甘いケーキ。これで女性たちがピンを使って、粉をこねていた意味が分かった。米、めんなども我々日本人のために特別調達のものと思われ、ロシア側の心遣いに頭が下がる。

5時、日ロ両隊員最後の記念撮影のあと、全員帰国の準備に入る。不用品はロシア側にプレゼント。なんでも喜んでくれるのでうれしい。夕食時、明日の予定が告げられる。とにかく明日は里に

中高年登山教室案内

趣旨 高齢化社会にあつて、中高年令者の生涯スポーツとしての山岳遭難防止、その一環としてメンバーシップ・リーダーシップの養成と健康保持・自然環境保全のため一日登山教室を行います。

会場 安達太良山1770m
 期日 8月31日～9月1日
 集合 新潟市宮陸上競技場前 31日(土) 11時

募集人員 82名
 費用 17000円 交通費・事業費です。

SSFSポーツエイド助成

宿泊費・保険料 問合せ
 坂井 ☎ 025016216647
 加藤 ☎ 025126514495
 中村 ☎ 025126710701

申込 郵便振替
 0068001816090
 中高年登山委員会宛
 住所・氏名・電話・年齢・血液型を明記する。

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

平成8年度 専門委員会事業計画

専門委員会	実施期間	事業名・会議名	会 場	担 当 者	
総 務	8. 4. 14	評議委員会・理事会	新潟市万代市民会館	総務委員会	
	8. 4. 28	理事会(国体選手選考他)		総務委員会	
	8. 7.	理事会		総務委員会	
	8. 9.	理事会(前後半の行事確認等)		総務委員会	
	8. 11.	北信越5県連絡協議会			
	8.	関東地区連絡協議会			
	9. 1. 日	理事会(事業計画等検討)		総務委員会	
	9. 1. 日	新年会		総務委員会	
	9. 3.	理事会(評議委員会に関する事項)		総務委員会	
	指 導 技 術	8. 6. 15~16	日山協指導委員総会・研修会	東京渋谷岸記念体育	今成幸夫
8. 6. 22~23		登山技術講習会・岩登り	新潟市杉滝岩	阿部信一・安野正弘	
8.		指導員移行講習会		安野正弘	
8. 11. 17		指導員研修会	新潟市万代市民会館	三富一弥	
9. 2. 15~16		冬山研修会(雪崩Part II)		阿部信一・安野正弘	
遭 難 対 策	8. 4~7月	遭難防止啓蒙活動	山開きの地元山岳会に依頼	遭難対策委員会	
	8. 7. 11~12	全国山岳遭難対策協議会	岐阜	遭難対策委員会	
		遭難救助講習会		遭難対策委員会	
	8. 9.	テーピング講習会		遭難対策委員会	
	9. 1.	新潟県遭難対策会議			
自 然 保 護	8. 5. 18~19	第22回自然保護指導員研修会	糸魚川地区 早川谷	桑原佛治	
	8. 6. ~7.	山のクリーン作戦			
	8. 7. & 9.	日山協全国大会打合せ	津南町小松原湿原		
	8.10. 19~20	日山協全国自然保護指導員総会	マントパーク津南	桑原佛治	
	8.10. 19~20	第23回自然保護指導員研修会	小松原湿原		
中 高 年 登 山	8. 8. 31~9. 1	第6回県山協登山教室	安達太良山	中高年登山委員会	
	8. 9. 18~20	文部省・日山協中高年安全登山講習会	兵庫県	中高年登山委員会	
国 体	8. 4. 7	日山協国体委員会総会	東京	森 庄一	
	8. 4.	国体予選会場調査	巻町角田山周辺	国体委員会	
	8. 4. 27~28	第51回国体新潟県予選会新調精励	巻町	国体委員会	
	8. 5. 25~26	北信越5県代表者会議	長野県	国体委員会	
	8. 5.	国体合宿 北信越	長野県大町	国体委員会	
	8. 7. 26~28	第17回北信越国体	長野県大町	国体委員会	
	8. 9.	第51回広島国体監督会議		監督	
	8. 9.	競技水準向上ヒアリング	新潟	国体委員会	
	8. 8. 1~10. 上	国体合宿	広島県	国体委員会選手団	
	8. 10. 上	第51回広島国体結団式	新潟	監督・選手・コーチ	
	8. 10. 11~16	第51回広島国体	広島県	国体委員会選手団	
	8. 11.	北信越審判員研修会		指導委員会	
	8. 12. 上	第51回広島国体反省会		国体委員会	
	8. 12.	国体解散式	新潟	国体委員会	
	8. 12.	新潟県コーチサミット	新潟	国体委員会	
	9. 1.	県体育協会新年会	新潟市イタリア軒	国体委員会	
		競技力強化研究協議会	新潟	国体委員会	
	ク ラ イ ミ ン グ	8. 4. 13~14	日山協全国研修会	丹沢	
			藤塚浜ボード撤去 クライミング研修会		クライミング委員会 クライミング委員会
海 外 登 山	8. 6. 8~9	日山協国際部総会及び海外遭難対策研究会	岐阜市	田中純夫	
	8. 9. 28	県山協海外登山研究会	新潟市		
	8. 11.	第10回東北地区海外登山研究会	八戸市	田中純夫	
	9. 2. 22~23	日山協海外登山技術研究会	長野市(学センハウス)	東樹義夫	
婦 人	8. 6.	親睦登山(青海町石の博物館見学)	青海町	山田智子	
会 報 編 集	毎月1回	新山協ニュース第110~121号	5日原稿締切20日発行	杉本 敏	
資格会費徴収		資格会費の徴収		杉本 敏	